

氏名：相馬 理香	実施国：フィリピン	協力活動
活動名称	フィリピン カマリネスノルテ州ダエットにおけるストリートチルドレン自立支援団体『Pili kids』の活動及び日本における国際理解の為の教育、啓蒙活動	
実施期間	2013 年 11 月～2013 年 6 月	

(1) 申請した動機

青年海外協力隊の任期中に、任地（フィリピン、カマリネスノルテ州ダエット）で出会ったストリートチルドレンの自立を支援するグループ、『Pili kids』を開始した。週末に子供を集めて木の実の殻を使った雑貨づくりを指導し、また折紙や日本語など日本を紹介するワークショップもあわせて実施した。Pili kidsに参加する子供の中には、初等、中等教育は無料にも関わらず、制服や教材などの購入資金がないことで不登校になり、進学が出来ない子供が多い。Pili kidsはこのような貧困に苦しむ子供が生活のために働かなければいけない状況から一日も早く抜け出し、子供らしく遊び、好きなだけ学校で遊べるようになるために、子供達とその家族に支援を行った。

2012 年以降も同じくダエットで活動をする協力隊隊員と地元の学生ボランティアが Pili kids に賛同してくれたのに加え、子供達の強い希望により、Pili kids の活動を継続することとなった。また日本では、千葉県朝日学園高等部にて Pili kids を紹介する授業を実施した。これをきっかけに学生ボランティアを中心に Pili kids が作成した雑貨の販売に協力してもらい、活動資金の調達活動を始めている。フィリピンと日本の両国にて Pili kids のミッション実現、さらなる活動の拡大を目的に帰国隊員プロジェクトの申請をした。

(2) 活動内容概要

実施期間中は主に以下 2 つの柱での活動をした。詳細はプロジェクト報告書に記述する。

1. フィリピンにおける Pili kids 活動の継続

- ・ 2012 年 11 月から現在まで月 2～3 回の定例活動実施
- ・ 2013 年度の新学期からの奨学金制度の導入
- ・ 日本人学生のスタディツアー受け入れ（計 4 回）

2. 日本における啓蒙活動、ファンディング活動

- ・ フィリピンの国、文化、Pili kids の活動を紹介する授業、講演の実施（3 校 9 回、その他講演 2 回）
- ・ 学生ボランティアによる Pili kids 製品の販売（文化祭や祭りなど計 4 回）
- ・ 学生ボランティア代表者 2 名と大学生のスタディツアーの実施（3 月 15 日～22 日）



笑顔の Pili kids(上)



勉強会の様子(右上下)

(3) 活動の成果・苦勞した点・反省点等

●成果

1の活動：食事前の手洗いや整列、作業後の片づけや清掃などルールを守る習慣が定着してきている。また保護者のファシリテータ制度導入により、これまでの受け身の姿勢が徐々に変化し、リーダーシップが生まれている。地元のボランティアによる授業の実施や奨学金制度の導入により、子供達の学習に対する興味や意欲が向上しているように見受けられる。

2の活動：授業や講演から、フィリピンやボランティアに興味を持つ学生が増えた。特にスタディツアーに参加した高校生は帰国後の生活態度に大きな変化が見られ、欠席や遅刻が激減した Pili kids の支援のまとめ役として積極的に関わっている。

●課題

1の活動：実際の活動は協力隊隊員が主催しており、地元ボランティアは未だ主体性に欠けている。また、主に活動をまとめていた隊員の帰国が9月に迫り、Pili kids 活動の継続が危ぶまれている。

2の活動：資金集めの一環として行っているアクセサリー販売において売り上げの低下がみられる。文化祭やコミュニティのお祭りなど、来場される方がほぼ同じで目新しさに欠けている。製品バラエティ、質の向上が必要。

(4) 今後のプラン

1の計画：Pili kids 継続方法の検討

- ・運営のローカライズ化を推進する(ボランティア募集、保護者ファシリテータの権限拡大、パートナー団体募集)
- ・奨学生のモニタリングを実施する(定期的な家庭訪問、学習サポート)

2の計画：啓蒙活動の拡大

- ・旭日学園において、事業の一環として Pili kids 支援を実施する。
- ・協力団体(学生ボランティア団体、学校法人等)を増やす。
- ・NPO法人化を進める。